

食べるためにつくる。

生きるために食べる。

# リトル little forest フォレスト 冬／春

橋本愛 三浦貴大 松岡茉優 温水洋一 桐島かれん

監督・脚本：森淳一 原作：五十嵐大介「リトル・フォレスト」(講談社「アフタヌーン」所載)

フードディレクション：eatrip 音楽：宮内優里 主題歌：FLOWER FLOWER「冬」「春」(Petalrecords)

プロデューサー：守屋圭一郎 石田聡子 撮影：小野寺幸浩 美術：藤洲幸久 録音：田中博徳 編集：渡田隆一 スタylist：宮本茉莉 衣装メイク：小林真之  
企画・制作プロダクション：ROBOT 製作：「リトル・フォレスト」製作委員会 配給：松竹株式会社メディア事業部  
©「リトル・フォレスト」製作委員会

littleforest-movie.jp

2015.2.14

—sat—







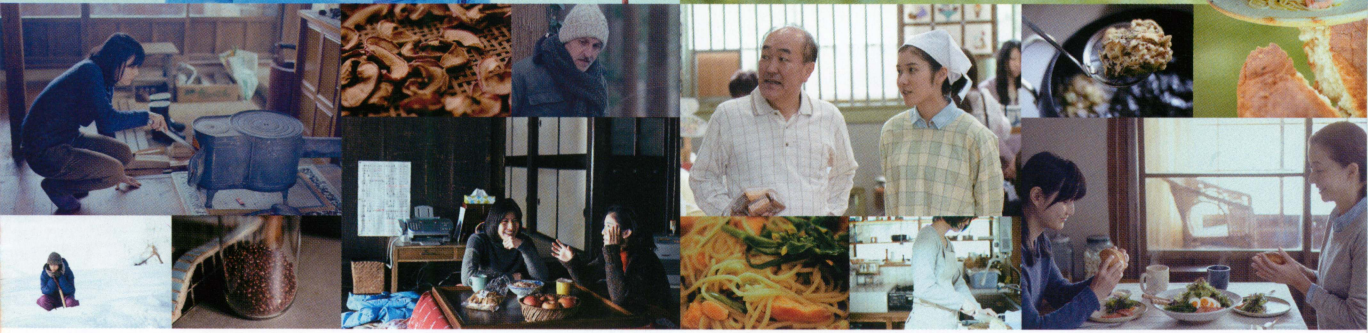
春夏秋冬の4部作、いよいよ完結。

“小森”は東北のとある村の中の小さな集落。いち子は一度街に出て男の人と暮らしたりもしたが、自分の居場所を見つけられずにひとりでここに戻ってきた。「言葉はあてにならないけど、わたしの体を感じたことなら信じられる」と思い、稲を育て、畑仕事をし、周りの野山で採った季節の食材から食事を作って食べる毎日。甘酒とカボチャを使って作った3色ケーキ、子供の頃から大好きな出来立てアツアツの納豆もち、ふきのとうでつくるばっけ味噌…母のレシピを作りながら、今までの自分、これからの自分を思い、心が揺れ始めるいち子。「わたしは、ちゃんと向き合えなくて、それで小森に帰ってきたんだな…」  
そんなある日、1通の手紙が届く。それは5年前に突然失踪した母・福子からの手紙だった――



自然の恵みを食べて、生きる力を充電する。

美しくも厳しい自然の情景、旬の素材を使った食事。生きるために食べ、食べるために作る。全てがひとつながりになった暮らしを描いた「リトル・フォレスト」。四季の移り変わりを映しとるために約1年間に渡って岩手県でオールロケを敢行した春夏秋冬の4部作です。後篇となる「冬・春」では、ついに物語が完結、突然失踪した母との関係や、ひとりで小森に暮らすようになったいきさつが明かされ、自分を見つめ直し、一人の女性として成長するいち子が描かれます。また、アズキのマフィン、ひつつみ、塩マスとノビルと白菜の蕾葉のパスタ、ジャガイモパンなど素朴で美味しい料理もたくさん登場します。  
主人公・いち子を演じるのは若手実力派女優の橋本愛。いち子の幼馴染・ユウ太役に三浦貴大、幼馴染で親友のキッコ役に松岡茉優、キャンプ場の管理人・シゲユキ役に温水洋一、そしていち子の母・福子役に桐島かれんという個性豊かなキャストが勢ぞろい。そして野村友里率いる「eatrip」がスクリーンを彩る料理の数々をディレクションしました。「夏・秋」に引き続き森淳一が監督を務め、yui率いるFLOWER FLOWERが季節にあわせて2曲の主題歌を書下ろしています。



2015.2.14(土) ロードショー